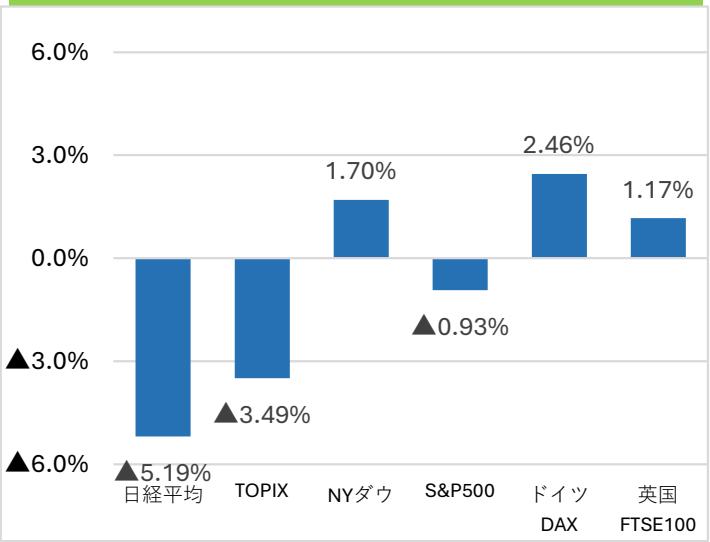
ゆうちょアセットマネジメント

マーケットレポート　2026年10月号

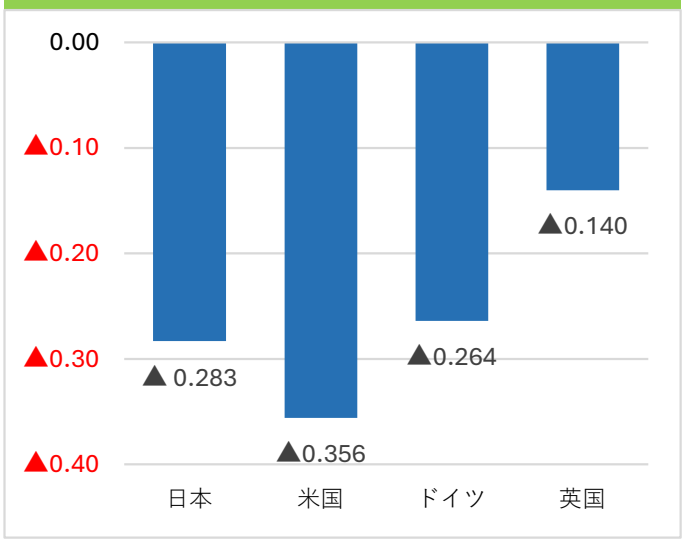
ご参考資料

2026年11月9日

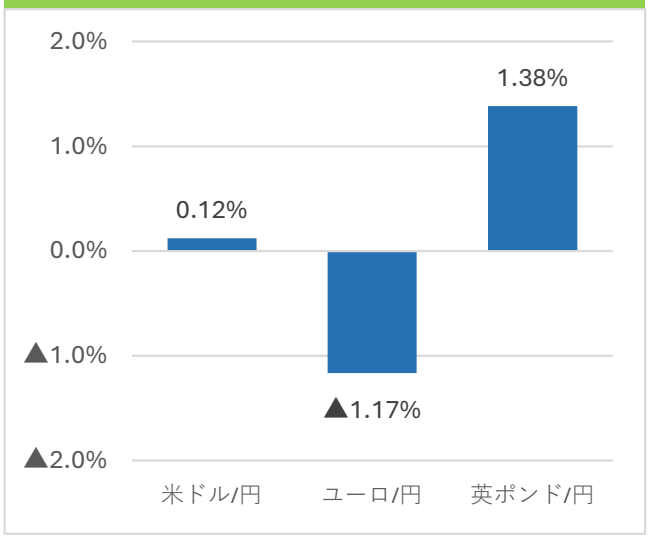
株式市場（前月比）



債券市場（10年国債利回り・前月比）



為替（前月比）



			10月末	9月末	月間騰落率
株式市場	日本	日経平均株価（単位：円）	63,290.11	66,753.72	▲5.19%
		TOPIX	3,965.07	4,108.65	▲3.49%
	米国	NYダウ（単位：米ドル）	51,770.31	50,906.05	1.70%
		S&P500	7,580.07	7,651.54	▲0.93%
	欧州	ドイツ DAX	25,818.21	25,199.19	2.46%
		英国 FTSE100	10,729.78	10,606.00	1.17%
債券市場	日本	日本10年国債利回り	2.782	3.065	▲ 0.283
	米国	米国10年国債利回り	4.929	5.285	▲0.356
	欧州	ドイツ10年国債利回り	3.322	3.586	▲0.264
		英国10年国債利回り	5.284	5.424	▲0.140
為替		米ドル/円	157.54	157.35	0.12%
		ユーロ/円	176.26	178.34	▲1.17%
		英ポンド/円	210.99	208.11	1.38%

（出所）Bloombergのデータをもとにゆうちょアセットマネジメント作成
※債券の騰落率は利回りの変化幅です。
※為替レートは一般社団法人資産運用業協会発表のものです。

10月発表の主な出来事・経済指標

日付	地域	発表機関	主な出来事・経済指標	前回発表値	今回発表値
10/1（木）	米国	供給管理協会	ISM製造業購買担当者景気指数	54.6	54.5
10/2（金）	米国	労働省	失業率	4.1%	4.2%
10/2（金）	米国	労働省	非農業部門雇用者数（前月比）	133千人	29千人
10/5（月）	米国	供給管理協会	ISM非製造業購買担当者景気指数	55.4	54.9
10/14（水）	米国	労働省	消費者物価指数（食品・エネルギー除くコア）（前年比）	2.4%	2.6%
10/15（木）	米国	労働省	生産者物価指数（食品・エネルギー除くコア）（前年比）	4.8%	5.0%
10/23（金）	日本	総務省	全国消費者物価指数（生鮮食料品除くコア）（前年比）	1.7%	2.1%
10/27-28	米国	連邦準備理事会	米国政策金利（フェデラルファンド金利誘導目標）	3.75～4.00%	3.75～4.00%
10/28-29	欧州	欧州中央銀行	欧州政策金利（中銀預金金利）	2.50%	2.50%
10/29-30	日本	日本銀行	日本政策金利（無担保コールレート（オーバーナイト物））	1.25%	1.25%

（出所）各政府系機関公表のデータ等を基にゆうちょアセットマネジメント作成。
※前回発表値は修正があった場合、修正後の数値を表記。

Copyright © JAPAN POST BANK ASSET MANAGEMENT Co., Ltd. All Rights Reserved.

日本市場の動き

ご参考資料

株式市場

日本株式市場は、下落しました。
月前半は、米国の早期利上げ観測の後退やAI関連需要への期待から半導体関連株を中心に買いが入る局面もありましたが、米半導体株安や中東情勢の緊迫化などから売りが広がり下落しました。月後半は、AI関連企業による巨額投資の収益性に対する懸念や原油高などが相場の重しとなった一方、米半導体関連株の上昇を受けて買い戻しが入る場面もみられました。

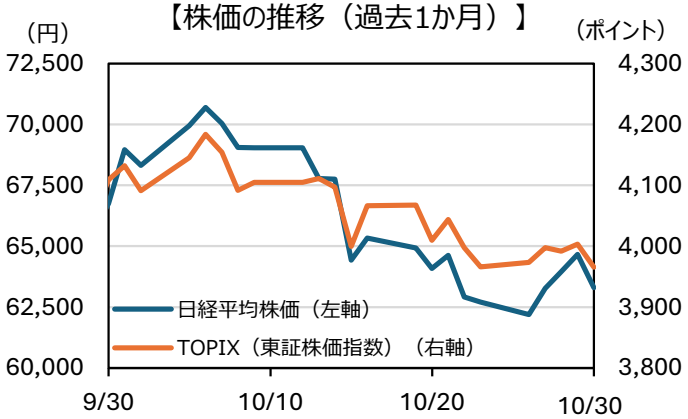
債券市場

10年国債の価格は上昇（金利は低下）しました。
月前半は、米長期金利の動向や原油高によるインフレ懸念などを背景に、長期金利は一進一退で推移しました。月半ばから後半にかけては、米長期金利の低下や国内外の株価下落を受けて国債が買われ、長期金利は低下しました。月末は、株式市場の持ち直しや米長期金利の上昇を受けて長期金利が一時反発したものの、その後の株価下落を受けて再び低下しました。

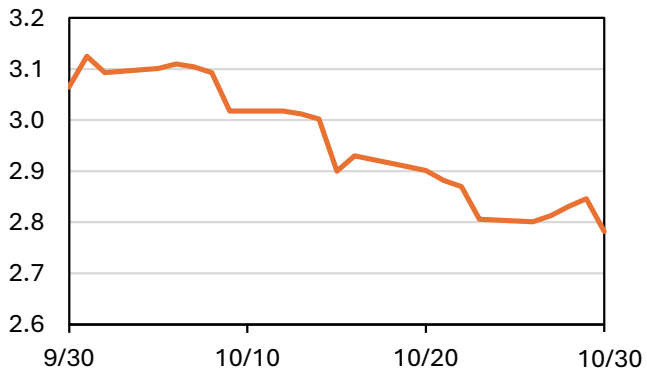
今後の見通し

株式市場においては、AI関連投資を巡る懸念や中東情勢の不透明感に加え、米中間選挙の結果を受けた今後の政策動向などを背景に値動きの荒い展開が予想されますが、堅調な企業業績が株価を下支えすると見込みます。
債券市場においては、米中間選挙の結果を受けた国内外の株価下落に伴い、日銀が金融環境や景気動向をより慎重に見極めるとの見方から、12月の追加利上げ観測が後退しています。

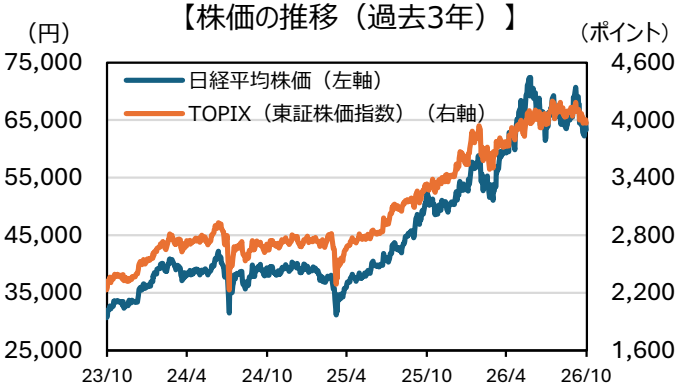
【株価の推移（過去1か月）】



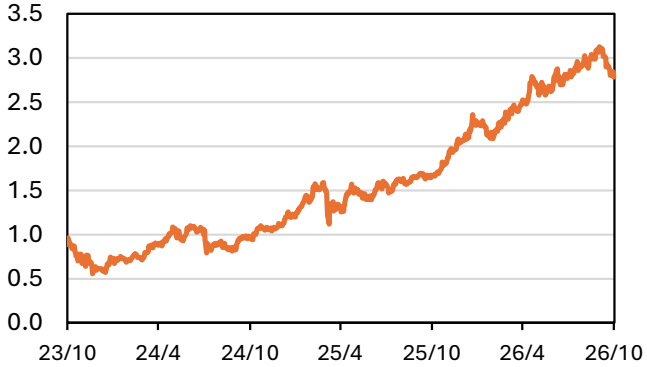
（%）【10年国債の利回り推移（過去1か月）】



【株価の推移（過去3年）】



（%）【10年国債の利回り推移（過去3年）】



（出所）Bloombergのデータをもとにゆうちょアセットマネジメント作成

マーケットレポートは、
毎月5営業日目に更新しています。
ぜひチェックしてみてね。



ゆうちょアセットマネジメントの
公式マスコットキャラクター
まめめ

Copyright © JAPAN POST BANK ASSET MANAGEMENT Co., Ltd. All Rights Reserved.

米国市場の動き

ご参考資料

株式市場

米国株式市場はまちまちな展開となりました。月前半は、米雇用統計が市場予想を下回り、米利上げ観測が後退したことなどから買いが入りましたが、インフレ懸念やAI関連企業の資金調達に対する警戒感などから、半導体株を中心に売りが広がり、上値の重い展開となりました。月後半は、AI関連企業による巨額投資の収益性に対する懸念が引き続き相場の重しとなった一方、ヘルスケア株などが買われ、業種によってまちまちな展開となりました。月間では、NYダウは上昇した一方、S&P500指数は下落しました。

債券市場

米国10年国債の価格は上昇（金利は低下）しました。
月前半は、インフレ懸念などを背景に売られる場面もありましたが、AI関連株の下落を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、債券買いが優勢となりました。月後半も、AI関連銘柄への売りが広がるなどリスクオフの展開が続き、債券買いが継続しました。月間では利回りは大幅に低下しました。

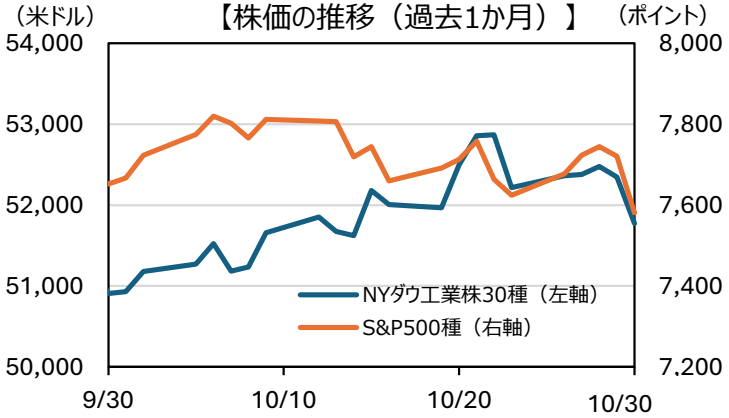
為替

米ドル／円は、ほぼ横ばいとなりました。月前半は、米長期金利の低下を受け、日米金利差の縮小を意識した円買い・ドル売りがみられた一方、原油価格の上昇による日本の貿易収支悪化への懸念から円が売られる場面もあり、一進一退の展開となりました。月後半は、AI関連株の下落などを受けて、リスク回避の円買いが強まる場面もありましたが、その後日米の金融政策を巡る思惑などから円売り・ドル買いも入り、月間ではほぼ横ばいとなりました。

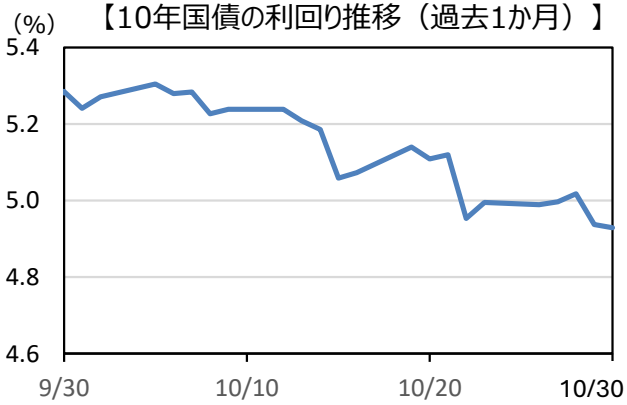
今後の見通し

米国株式市場は、底堅い景気や企業業績が下支えとなる一方、インフレ動向や米連邦準備制度理事会（FRB）の金融政策に左右され、値動きの大きい展開が見込まれます。また、中間選挙後の政策運営を巡る不透明感から、相場の変動が大きくなる可能性にも留意が必要です。米国債券市場は、インフレ懸念や追加利上げ観測などが金利の上昇要因となる一方、株式市場が不安定となる局面では、リスク回避の債券買いが金利を押し下げるとみられます。

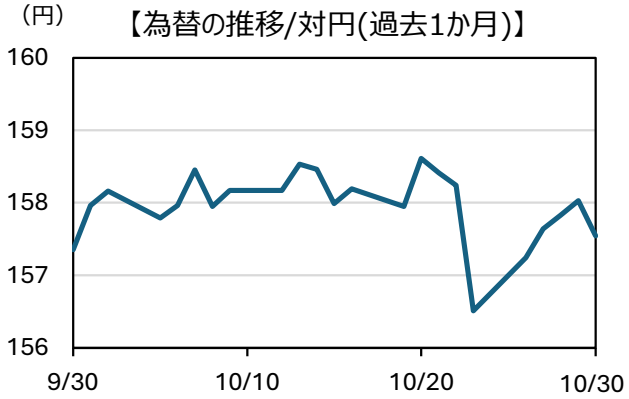
【株価の推移（過去1か月）】



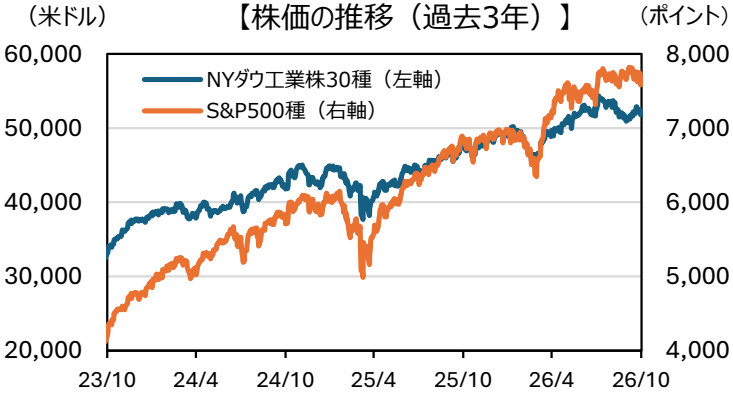
【10年国債の利回り推移（過去1か月）】



【為替の推移/対円(過去1か月)】



【株価の推移（過去3年）】



【10年国債の利回り推移（過去3年）】



【為替の推移/対円(過去3年)】



（出所）Bloombergのデータをもとにゆうちょアセットマネジメント作成

Copyright © JAPAN POST BANK ASSET MANAGEMENT Co., Ltd. All Rights Reserved.

欧州市場の動き

ご参考資料

株式市場

DAX指数（独）、FTSE100（英）は上昇しました。
ドイツは、AI関連銘柄の不透明感やフランスの財政不安等により上値が重い展開が続きましたが、欧州中央銀行（ECB）による政策金利据え置きなどを好感し、株が買われ上昇しました。英国は、各国市場で相場の重しとなっていたAIや半導体関連の銘柄が少なく影響を受けにくかったこと、石油関連株の上昇などにより上昇しました。

債券市場

ドイツ10年国債、英国10年国債の価格は上昇（金利は低下）しました。
インフレ懸念による利上げ観測などで国債が売られる場面もありましたが、その後、米金利低下に追随した買いが入りました。また、フランス国債が政府・財政不安により売られる一方で、相対的な安全資産とされるドイツ国債が買われるなど、月を通じて国債の利回りは低下しました。

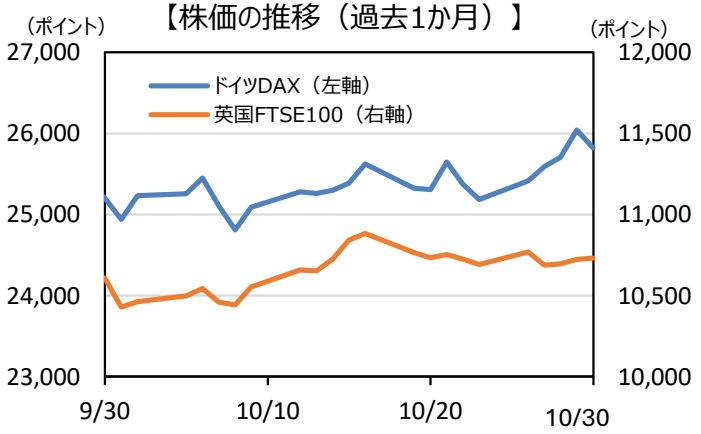
為替

ユーロ／円は円高、ポンド／円は円安となりました。
フランスの財政等をめぐる不透明感によりユーロが売られ、対ユーロで円高となりました。一方ポンドは9月の消費者物価指数が市場予想を上回ったことにより、英中央銀行による11月利上げ観測が高まり、円に対してポンドが買われ、円安となりました。

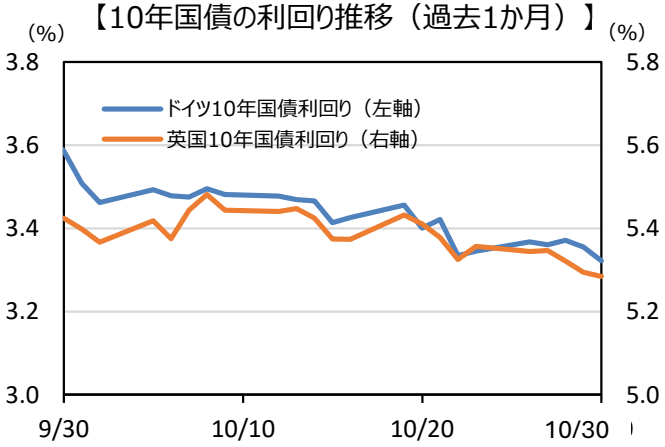
今後の見通し

株式市場では、中東情勢によるエネルギー価格の高止まりに伴うインフレリスク、財政悪化などによる社会不安の高まりなどにより、上値の重い展開となると思われます。
債券市場は、財政悪化を警戒した国債価格の下落により、中央銀行による追加利上げの可能性が高まれば、金利がさらに上昇する懸念があります。

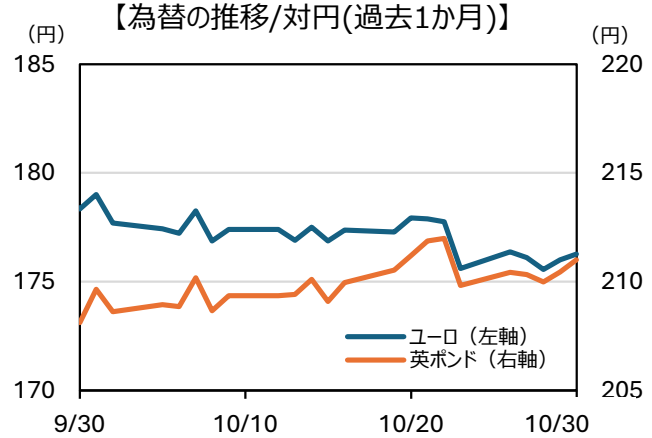
【株価の推移（過去1か月）】



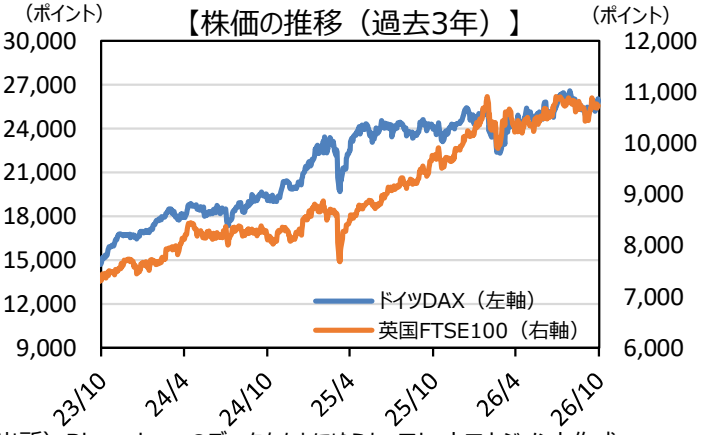
【10年国債の利回り推移（過去1か月）】



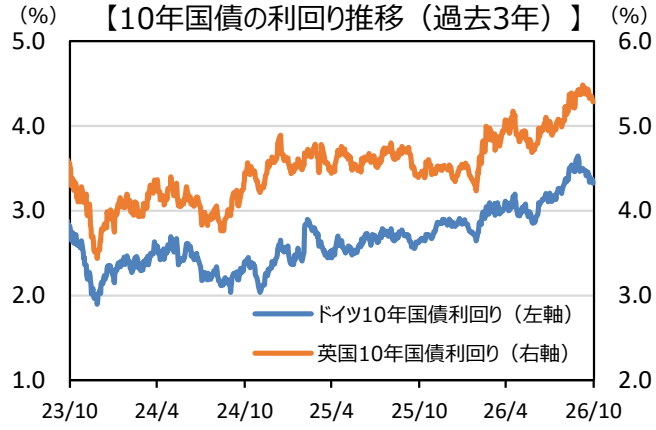
【為替の推移/対円(過去1か月)】



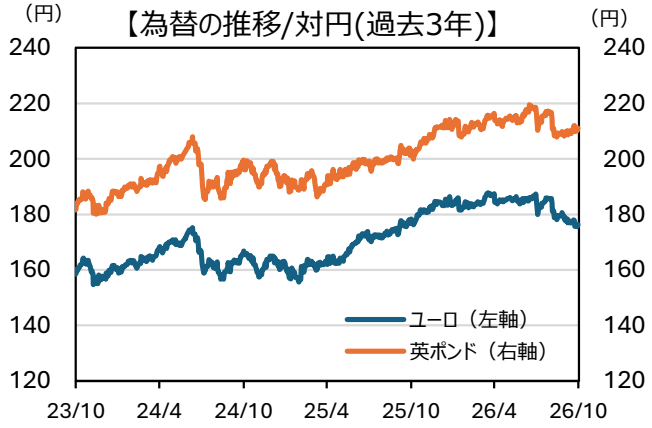
【株価の推移（過去3年）】



【10年国債の利回り推移（過去3年）】



【為替の推移/対円(過去3年)】



（出所）Bloombergのデータをもとにゆうちょアセットマネジメント作成

Copyright © JAPAN POST BANK ASSET MANAGEMENT Co., Ltd. All Rights Reserved.

ご参考資料

【ご留意事項】
●当資料は、ゆうちょアセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
●ご購入のお申し込みの際は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
●投資信託は値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクを伴います。）に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。
●投資信託は預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
●当資料は、信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
●当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
●当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

ゆうちょアセットマネジメント

商号：ゆうちょアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第2879号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

●当資料は、ゆうちょアセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではなく、証券取引の勧誘を目的としたものでもありません。